備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

（平成19年度事業）

施策名（小項目）	環境美化	コード	作成者	役職	環境課長
		01-02-02		氏名	宇野信行
				電話	６４－１８２１

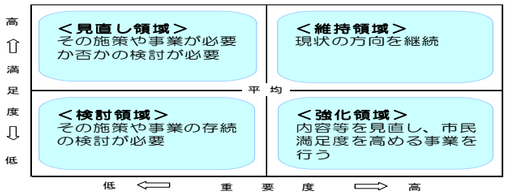
備前市総合計画の内容から記載する

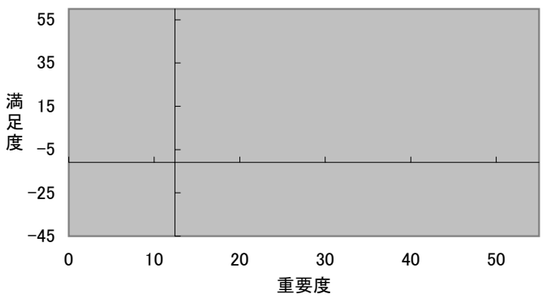
政策の体系		
	大項目（基本目標）	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目（基本施策）	自然と共生するまちづくり

① 施策の対象と目的（誰のために、何のために）	清潔で快適な暮らしを求める市民のため、関係団体との連携のなかで、快適な生活環境の保持と環境美化の推進を図る。
② 現況と課題（総合計画から現在の問題点を抽出）	不法投棄等は年々減少しているものの、マナーの欠如によるポイ捨ては後を絶たないのが現状であり、関係団体と連携しながら、より一層環境美化を図る必要があります。
③ 施策展開（総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出）	・ 環境美化活動の推進 ・ ・ ・ ・ ・ ・

④市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度（%）			
満足度（%）			





調査結果に対するコメント、市民の反応等（調査対象でない施策の場合は、市民の反応等）	市民意識調査において、進んでごみを拾うように気を付けたいという意見があった。

⑤ 施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

	施策に対する成果指標名		単位	過年度実績 H17	過年度実績 H18	評価年度 H19	目標値 H20	目標値 H23	目標値 H28	ベンチマーク	指標の説明
1	不法投棄の件数	目標	件	20	20	20	20	20	20		
		実績	件	9	21	31					
		達成率	%	222.2	95.2	64.5					
2	放置自転車撤去台数	目標	個	80	80	80	80	80	80		
		実績	個	82	91	98					
		達成率	%	102.5	113.8	122.5					
3	ごみの減量化、資源化に取り組んでいる市民の割合	目標	%	90	90	90	90	90	90		市民意識調査
		実績	%	79.5	84.1	87.3					
		達成率	%	88.3	93.4	97.0					
4	道路や公園にごみや落書きが目立つと感じている市民の割合	目標	%	10							市民意識調査（H18で取止め）
		実績	%	31							
		達成率	%	32.3							

⑥ 施策構成事務事業の評価

所 属 長 評 価

	施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A～E（高～低）	細事業	事業分類	H17 直接事業費	H17 人件費	H17 人工数	H18 直接事業費	H18 人件費	H18 人工数	H19 直接事業費	H19 人件費	H19 人工数	施策への貢献度 ☆☆☆☆☆☆☆	予算の重要性 $$$$$$$	H20 当初予算 直接事業費
1	放置自転車・自動車対策事業	C	放置自転車対策事業	その他単市	0	1,412	0.18	0	1,250	0.34	0	869	0.11	☆☆	$$	0
			放置自動車対策事業	その他単市	0			0			0			☆☆	$$	198
			使用済自動車等海上輸送費補助金	単市補助給付	0			0			0			☆	$$	33
2	環境衛生事業	C	環境衛生指導委員会事業	その他単市	2,815	4,790		2,000	5,555		2,815	8,795	1.01	☆☆	$$	3,716
			防疫事業	その他単市	1,813			721			1,273			☆☆	$$	991
			県環境衛生協会東備支部負担金	その他単市	361			361			402			☆	$$$	402
			東備食品衛生協会助成金	その他単市	100			100			100			☆	$$$	80
			その他	その他単市	173			1,145			298			☆☆	$$	319
			不法投棄処分事業	その他単市	216			184			119			☆☆	$$	300
			諸島地区汲取り支援事業	単市補助給付	84			72			108			☆☆	$$	132
			諸島地区葬祭事業費補助金	単市補助給付	32			0			96			☆☆	$$	80
			公衆トイレ維持管理事業	単市補助給付	601	2,250		676	280		729			☆☆	$$	
			日生地区清掃支援事業	単市補助給付	92			195			61			☆☆	$$	61
			環境美化推進員事業	その他単市	0	7,740		0	5,570		0	0	0.00	☆	人件費のみ	0

この施策に費やした資源（単位：千円，人）	H17			H18			H19			H20当初(直接事業費)
	6,287	16,192	0.18	5,454	12,655	0.34	6,001	9,664	1.12	6,312

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

⑧ 施策の評価

5：非常に高い　4：高い　3：どちらともいえない　2：低い　1：非常に低い

項目	一次評価 評価	一次評価 判断理由	二次評価 評価	二次評価 判断理由
1 目的達成度（中･長期目標に対する）	3	適正な事業実施ができている	3	不法投棄の件数が増えている。さらに努力が必要である。
2 事業構成の適当性	3	どちらともいえない	3	環境衛生対策事業として妥当である。
3 施策の有効性（評価年度の目標達成）	3	どちらともいえない	3	環境美化の推進が図られており有効な施策である。
担当への指示（今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等）	環境衛生指導員と調整しながら、地域の実情を考慮しつつ、環境美化の推進を図ること。		快適環境へ意識機運を促して、協働のまちづくりを目指していくこと。	
二次評価者コメント 役職　民生部長 氏名　鵜川　晃匠	環境美化については、地域ぐるみで手軽に取り組めるよう、各種団体等の活動を通して推進を図っていく必要がある。			

基本施策への貢献度
３中立